

あがら

2016.1



第26号

社会福祉法人
伊賀昂会

TEL.0595-24-7897
FAX.0595-24-7893

<http://www.igasubarukai.or.jp/>

ごあいさつ

社会福祉法人 伊賀昂会 理事長 山路 晴朗

新年あけましておめでとうございます。

本年も当法人の理念であります「障がい者の幸せ・職員の幸せ・地域の幸せ」の実現に向けて職員一同精一杯努力してまいります。

当法人では二つの通所事業所を運営していますが、そのひとつであるプレイヤード作業所（プレイヤードはフランス語で「すばる」という意味です）を昨年の十二月に久米町のしろなみ保育園横の一五〇坪ほどありますテナントに移転しました。詳しくは次の見開きの紙面をご覧くださいただけたらと思います。多くの通所者が快適に通って頂くためには、その事業所の環境が整っていることが不可欠です。そうした視点で少し広めの事業所として開所させて頂きましたが、日々生き生きと活動されている障がい者の働く姿を是非知って頂きたく、紙面でのご紹介とお近くを通られた際には気軽にお立ち寄りしていただけると幸いです。

さて、めまぐるしく変わる社会情勢の中で、社会福祉法人の在り方が問われる時代に入ってきています。現在、伊賀市では伊賀市社会福祉協議会が中心になって「伊賀市社会福祉法人連絡会準備会」を結成して、今後の社会福祉法人のすすむべき方向を検討している最中です。伊賀市にあるすべての法人が結集して、地域に対してどんなことをしていく事が社会福祉法人にとって必要なのか、逆に言えば地域から社会福祉法人がどう問われているのかということ、その議論をかさねているところです。

当法人は主に障がい者を対象にした事業運営をしてきましたので、今後もどんなに障がい者が重くても地域で普通の暮らしができるように支援していくという社会的使命をしっかりともちながら、日々の活動を充実させていきたいと考えています。

本年もそのような気持ちで法人運営を進めていく所存ですので、重ねてご理解とご指導の程、よろしくお願ひ申し上げます。

作業所 B型

TEL 0595-22-0177



延べ床面積：504.24㎡



職員が事務を行った終礼を行います。日々の様子を話したり、相談したりしています。



静養室
利用者さんの休憩するところです。



相談室
利用者さんの相談を受けたり、個別支援計画の説明を行ったり、家族や関係機関の方が来られた時の面談をします。





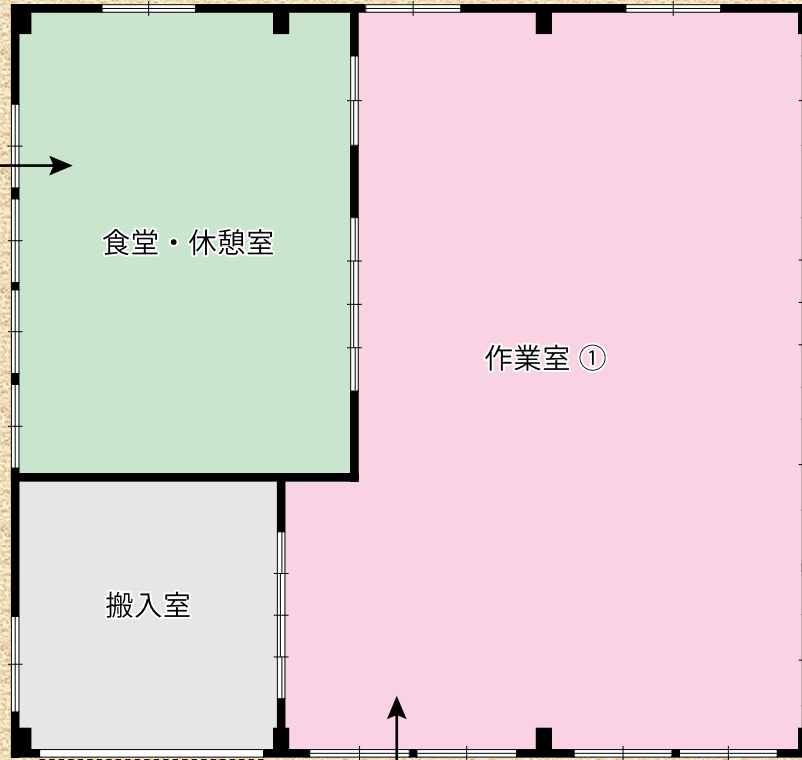
プレイヤー

伊賀市久米町166-1



食堂・休憩室

利用者さんが食事をするところです。談話をしたり、TVを観たりすることができます。休憩スペースです。



作業室 ①

工場ゾーンです。主にホッチキスの箱詰め、照明器具の部品付け、精密機器の架台作りの作業を行っています。また、自主製品として「原木しいたけの栽培」を行っています。



作業室 ②

内職ゾーンです。主にサンチェの袋詰め、菓子折りの箱作りの作業を行っています。その他に外勤作業として、プラスチックのリサイクル工場に行ったり、草刈りなどの環境整備にも出向いています。



事務所

事務所です。朝礼・利用者の方相談事を解

今後のグループホームの運営について ～今以上に入居者が快適な生活を送っていただくために～

当法人では平成22年7月のふるさと荘（定員4名）を開設して以来、現在まで11か所のグループホーム（定員49名）を運営してきました。

精神科病院や障がい者相談支援センター等からのご紹介でグループホームに入居を希望される方に見学→体験をしていただいて、順次入居をしていただきました。ところが、入居される障がい者の方々はそれぞれの思いや希望、生活上の課題を抱えながら、グループホームで生活されています。

ある入居者は自立するために「洗濯のやり方がわからないから、職員さんに教えてほしい」「部屋の掃除を手伝ってほしい」といった要望がある一方、ある入居者は自立の前に「ゆっくりと話を聞いてほしい、不安なの」といった訴えがあり、同じグループホームに住んでいるけれども、それぞれの希望や課題に職員がこたえていかなければならず、同じ方向で支援することが難しくなってきました。

そこで、当法人では平成28年4月より下記のような考えでグループホームを差別化していく予定にしています。それは同じような要望をもっている方に同じグループホームに入居していただき、職員が同じ方向でその思いにこたえていければ、今以上に入居者の生活が豊かになっていくのではないかと考えています。

当法人職員が検討を重ねて結果「のんびり型のグループホーム」と「自立型のグループホーム」の2種類に差別化してこの2つに区分することで、同じような要望をもつ皆さんが満足していく生活が送れるのではないかと考えました。「のんびり型」は食事支援や傾聴支援に加えて、新たに入浴支援・部屋の掃除・洗濯等の生活上の支援を行っていきます。「自立型」は従来通り、食事支援と傾聴支援が中心になります。

平成27年11月27日（金）13：30からサンピア伊賀で入居者・ご家族・関係機関・職員の計81名でその話し合いをもちました。

4月からの差別化に向かって職員が入居者一人一人と面接して、ご本人の合意のうえで、グループホームの異動＝引越しを行っていく予定です。地域で普通の暮らしができるように職員一同精一杯努力していく所存です。



プレアデス会にご支援いただいている方々

平成27年7月1日～平成27年11月30日

<個人> -敬称略・順不同-

千光士 敏子

<団体> -敬称略・順不同-

- 城西地区民生委員児童委員協議会
- 成和地区民生委員児童委員協議会
- 上野東部地区民生委員児童委員協議会
- 阿山地区民生委員児童委員協議会
- 市川建設(株)
- (有)岸田工務店
- 伊賀昂会 職員互助会

ただ今、
プレアデス会では
新規会員を募集
しています。

社会福祉法人 伊賀昂会 後援会「プレアデス会」では、新規会員を募集しています。
入会単位は個人・団体・企業を問いません。
会費は年額10千円（企業・団体は10万～1万円）です。口数は問いません。
新規会員・継続ともによりしく願います。

▶入会のお申し込み・お問い合わせは、
プレアデス会事務局【TEL.0595-24-7897(太陽作業所内)】まで。